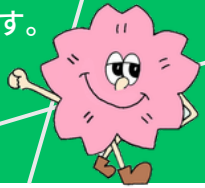


# 情報活用能力を通じて 子どもの主体性を引き出す！

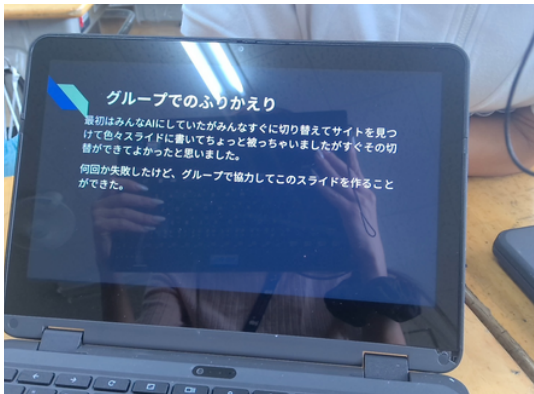
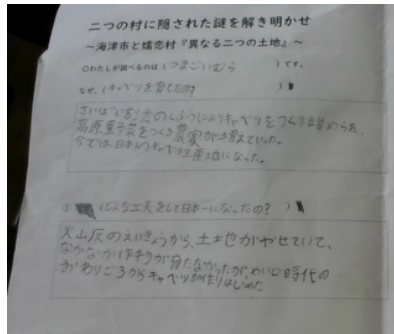
情報活用能力の育成を通して、子どもが主体的に学び続ける授業づくりに取り組んでいます。  
子どもたちが疑問をもち、情報を集めて整理し、伝え合う姿や、  
学習を自分で調整している姿、その学びの過程をレポートしていきます！



5年生 社会

## 授業の様子

「海津市と孺恋村の秘密を解明！」をテーマに、グループごとに調べたことをスライドにまとめて発表していました。調べ学習のスタートでは、「なぜキャベツを育てたの？」「どんな工夫をしたの？」など、自分たちで疑問を集めながら学習を進めていました。



## ふりかえり

児童からは、「生成AIを使って調べたけれど、本当に合っているか心配になったので、いろいろなサイトを見比べた」という振り返りがありました。便利な道具を活用しながらも、情報をそのまま信じるのではなく、自分で確かめようとする姿が見られました。

## すてきな姿 ✨

発表では、「どうしたら伝わりやすいかな」「どうしたら最後まで聞いてもらえるかな」と考えながら工夫する姿が見られました。クイズを取り入れたり、写真を効果的に使ったりするなど、聞く人を意識した発表がたくさんありました。グループで相談しながらよりよい伝え方を考え、「分かりやすく伝えたい」という思いが伝わってくる発表でした。



調べ学習では、ChatGPTなどの生成AIを活用するグループも見られました。しかし、AIの情報をそのまま使うのではなく、国語科「インターネットは冒険だ」の学習で学んだことを生かし、複数のサイトで情報を確かめたり比べたりしながら活用していました。